

History

キラリを再発見

新野を代表する有力な集落跡

幡室遺跡は、新野の幡室神社周辺に位置している弥生時代から鎌倉時代にかけての複合遺跡です。平成11(1999)年9月13日から10月25日にかけて菊川左岸用水路改良工事に先立ち、試掘調査を行った結果、数多くの溝や建物の柱穴とともに、通常の農民の建物とは考えられない、大型掘立柱建物跡の柱穴や、柱根の部分が発見されました。

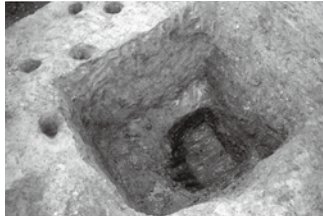
この大型掘立柱建物跡の出土遺物としては、古墳時代の土師器の壺や甑の把手が出土しています。遺物包含層から奈良時代以降の土器が出土していることから、古墳時代末から奈良時代初頭の建物と推定されました。本遺跡は、新野の谷の沖積低地が大きく幅を広げる地区最上流域の微高地にあり、地理的に最も有利な場所を占めています。

しかも、新野地区で最も古い集落の1つであり、米蔵の可能性のある大型の掘立柱建物跡が見つまっていることから、律令制初期(7世紀末から8世紀)には、この地域の中核であったと想定できます。

照会 社会教育課 ☎0548③1129



▲第1号柱穴と柱根



▲第2号柱穴と礎板



▲第3号柱穴と柱根



▲甑の把手部分の破片



埋蔵文化財包蔵地 幡室遺跡

中部電力の浜岡原子力発電所5号機の非常用ディーゼル発電機で、人為的ミスによる原子炉施設保安規定の運転上の制限を逸脱する事態が続いたことを重く受け止め、石原茂雄市長は11月12日、水谷良亮浜岡原子力総合事務所長に、浜岡原発の適正な管理を文書で要請しました。中部電力の保安規定では、非常用発電機3台のうち2台を稼働できる状態にするよう定められています。11月1日、5号機の点検作業で停止させた1台の運転に必要なスイッチを入れ忘れたまま、別の1台を点検で停止させました。7月にもナットの締め付け不足が原因で、燃料の軽油が漏れて1台が一時的に稼働不能になり他の1台も点検中だったため、制限を逸脱しています。



水谷総合事務所長は「一度重なる不手際があった。要請をしっかりと受け止め、再発防止に努めます」と話しました。

Atomic

暮らしと原子力

浜岡原発、相次ぐ人為的ミス
市は適正管理を文書で要請

中部電力の浜岡原子力発電所5号機の非常用ディーゼル発電機で、人為的ミスによる原子炉施設保安規定の運転上の制限を逸脱する事態が続いたことを重く受け止め、石原茂雄市長は11月12日、水谷良亮浜岡原子力総合事務所長に、浜岡原発の適正な管理を文書で要請しました。中部電力の保安規定では、非常用発電機3台のうち2台を稼働できる状態にするよう定められています。11月1日、5号機の点検作業で停止させた1台の運転に必要なスイッチを入れ忘れたまま、別の1台を点検で停止させました。7月にもナットの締め付け不足が原因で、燃料の軽油が漏れて1台が一時的に稼働不能になり他の1台も点検中だったため、制限を逸脱しています。